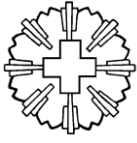


米沢市立病院 地域医療連携室だより



編集 米沢市立病院事務局地域医療連携室
〒992-8502 米沢市相生町6番36号
TEL(0238)22-2450(代表) (0238)22-2613(直通)
FAX(0238)22-2646
URL <http://www.yonezawa-city-hospital.jp/>

2022
令和4年1月

Vol. 38



厳冬期の雁戸山(蔵王連峰)

撮影者:大串雅俊病院長

特集

年頭のご挨拶
心臓血管外科の紹介

Topics

新病院建設の近況

冬号

年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の拡大により医療業の活動は大きく低下し、現在回復傾向になったものの、オミクロン株により再び低下する可能性があります。このような状況下でも、昨年は多くのお力添え、ご協力を頂き誠にありがとうございました。

医療とは医療で病気を治すことであり、必要とされる医療や提供できる医療が逼迫し、病気の発見の遅れ、救急患者受け入れ拒否、重症患者の治療ができなくなることは、決して米沢地域(近隣を含め)においては、起きてはならないことと思っておりますので、変わらぬご支援よろしくお願い致します。



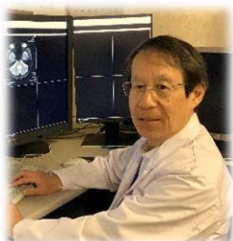
統括副院長
松本 幸夫

明けましておめでとうございます。昨年度は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るいましたが、後半は落ち着いてきて普段の生活が戻ってきました。今年もこのまま落ち着くことを願うばかりです。

さて、今年には三友堂病院と連携した新病院建設が本格的に進みます。今は基礎工事の段階で令和5年の晩秋頃に開院する予定です。

新病院の運営には三友堂病院との具体的な機能分化や人事交流も課題で、両病院は頻回に会議をしています。

公立と民間の病院が診療機能を再編し、一体となって建設を目指していく事例は全国でも極めてまれで困難ではありますが、職員は丸となって頑張っております。今後地域医療機関とより一層の連携を推進してまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



病院長
大串 雅俊

新年あけましておめでとうございます。皆さまにはとって健やかで実り多い年でありますよう祈念いたします。

ウィズコロナという状況の中、皆さまが安心して受診でき、入院加療して頂けますよう、より一層の看護サービスの提供に努めてまいります。今後も新病院に向けて、地域医療を担う当院の役割を最大限に発揮できるよう頑張りたいと思います。看護部一同「こころに寄り添う温かな看護の提供」に尽力してまいります。



副院長兼看護部長
竹田 恵美子

新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の未だ収束の見通しの立たない状況ではありますが、地域医療に携わっている皆様におかれましては、当院の診療にご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。加えて、新病院建設が続き当院を利用される患者さん、ご家族、医療機関の方々には大変ご不便をおかけいたしております。

私は医療安全、倫理委員会を担当させていただいております。どちらかといえば内向きの地道な仕事ですが、安全、倫理は医療の根幹を成すもので医療の質に関わる重要な分野であり、地域の皆様のご期待にそえるべく一生懸命取り組みさせていただきます。今年も当院をよろしくお願い申し上げます。



副院長
兼医療安全管理部長
長岡 明

新年明けましておめでとうございます。日頃より当院の地域医療連携にご理解とご協力を賜り深謝致します。

当院は2020年7月に地域医療支援病院に認定され、最近の紹介率は60%後半から70%台前半、逆紹介率は100%を超えて安定しており、医療機関の役割分担に關して市民にも受け入れられてきていると考えています。

今後、新病院での連携に關して準備を進めて参りますので、変わらぬご指導、ご協力をお願い致します。



副院長
兼地域医療センター長
佐藤 洋一

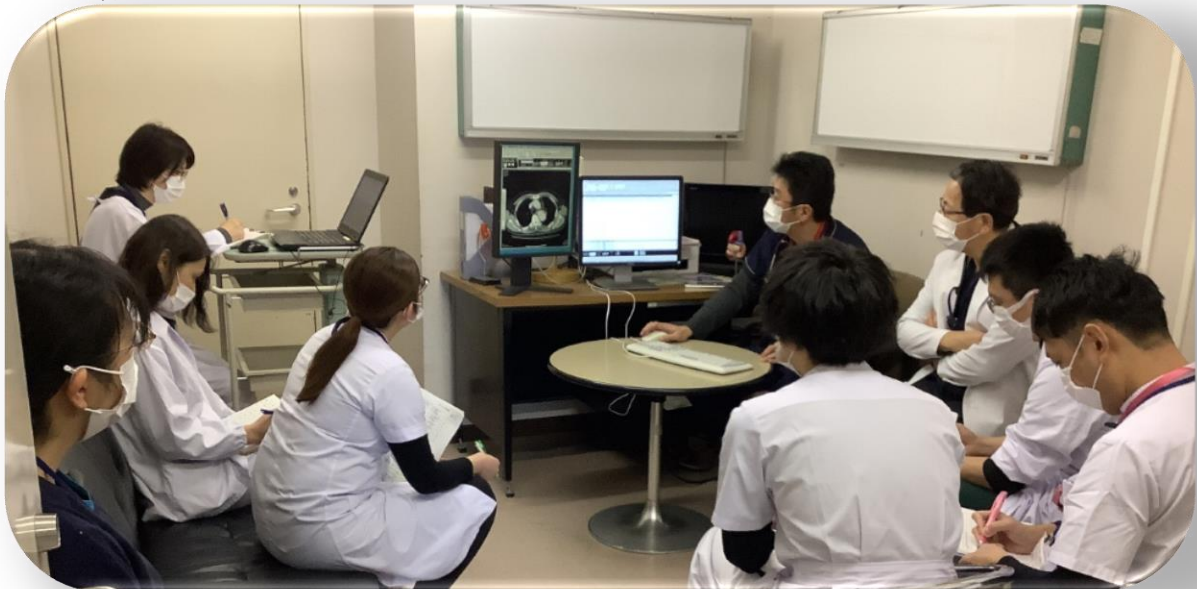
心臓血管外科の紹介

「米沢赴任後 11 年が経過し、2 人体制となりました」

心臓血管外科長(兼)
佐藤 洋一

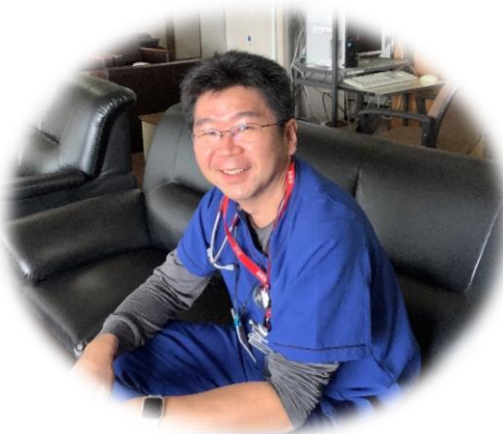
地域の医療従事者の皆様には常日頃から大変お世話になり、感謝申し上げます。私が大学から米沢に赴任して 11 年が経過しました。赴任後から下肢静脈瘤レーザー治療や大動脈瘤に対するステントグラフト治療などを立ち上げ、手術数は以前の 4 倍程度に増加し、成績も安定しています。学会の関連病院を含め、種々の治療に関する施設認定も取得しました。赴任後の心臓・胸部大動脈手術は 320 例、腹部大動脈瘤手術は 150 例、末梢動脈手術は 500 例、下肢静脈手術は 1200 例を超えており、先日下肢静脈瘤手術執刀 1,000 例を記念する感謝状をいただきました(山形県と福島県の中では 3 人目だそうです)。

さて、この 11 年間はほとんど 1 人でやってきましたが、縁あって 2021 年 10 月から山形大学第 2 外科の医局人事により鈴木耕太郎先生が当科に赴任されました。手術の手腕は丁寧で申し分なく、術後の管理にも精通されています。私も還暦になり体力的に不安な部分もありましたが、新病院に向けて明るい材料であり、大変心強く考えています。皆様のご期待に添えるよう今後も 2 人で努力して参りますので、私共々宜しくお願い致します。



カンファレンスの様子

「平素より大変お世話になっております。お初にお目にかかります。」



心臓血管外科医長
鈴木耕太郎

10 月から米沢市立病院、心臓血管外科に赴任いたしました、鈴木耕太郎と申します。佐藤洋一先生ご指導のもと、置賜地域の心臓、血管治療のお役に立てればと存じます。

私は 2004 年、山形大学卒業です。卒後は山形県立中央病院にて初期研修を行い、以降、県立中央病院、荘内病院、仙台厚生病院や神奈川県の大和成和病院といった病院で心臓血管外科に関する研鑽を積んでまいりました。

2014 年より前任の山形県立中央病院心臓血管外科にて医長として、手術、術後管理や術後のリハビリテーションなど、幅広く勉強してまいりました。

佐藤先生をはじめ、市立病院のスタッフにお世話になりながら、心臓、大血管、末梢血管や静脈疾患など、心臓血管外科に関わる診療に尽力したいと思っております。心臓、血管にかかわることであれば何でもお気軽にご相談いただければと存じます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

新病院建設の近況

9月 7日～ 地盤改良工事(エポコラム工法による柱状改良工事)

9月 21日～ 旧保育所側の山留工事(SMW工法)

※山留:地盤を掘削する時に周りの地盤が崩れないように地中に深さ約20mの壁を作る工事

10月 1日～ 旧保育所解体(9/27から仮設保育所運用開始)

※仮設保育所:相生町の旧セブンイレブンを改修し開院までの保育所として利用

10月 23日～ 2次掘削開始(1次掘削は約3.8mまで掘削し、2次掘削では約6.3mまで掘削)

11月 2日～ 土間・基礎配筋工事

11月 9日～ 地盤改良工事(MMB工法による浅層改良工事)

11月 18日～ 3次掘削開始(約9mまで掘削)

11月 29日～ 土間・基礎コンクリート打設工事

12月 3日～ 仮設屋根設置工事

※降雪の影響を受けずに地下工事ができるように仮設の屋根を設置

